

令和7年度 国際ルール形成・市場創造型標準化推進事業費  
(我が国の国際標準化戦略を強化するための体制構築)  
消費者への標準化に関する普及啓発活動  
実施報告

(公社) 日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会  
標準化事業実行委員会

令和7年度の経済産業省委託事業「国際ルール形成・市場創造型標準化推進事業費（我が国の国際標準化戦略を強化するための体制構築）消費者への標準化に関する普及啓発活動」では、12回の標準化セミナーと1支部による標準化のタネ探し（消費者視点の標準化提案）を実施した。以下、各普及啓発活動の成果について概要を報告する。

I. 標準化セミナー

1. 標準化セミナー（弘前大学） 主催：東北支部
2. 標準化セミナー（淑徳大学） 主催：東日本支部
3. 標準化セミナー（神奈川） 主催：東日本支部
4. 標準化セミナー（中部大学） 主催：中部支部
5. 標準化セミナー（鳴門教育大学） 主催：西日本支部
6. 標準化セミナー（香川大学） 主催：西日本支部
7. 標準化セミナー（愛媛） 主催：西日本支部
8. 標準化セミナー（広島経済大学） 主催：中国支部
9. 標準化セミナー（島根） 主催：中国支部
10. 標準化セミナー（鳥取環境大学） 主催：中国支部
11. 標準化セミナー（山口） 主催：中国支部
12. 標準化セミナー（長崎県立大学） 主催：九州支部

II. 標準化のタネ探し（消費者視点の標準化提案）

東北支部 避難施設・設備・災害用備蓄品の標準化 ～簡易ベッド（段ボールベッド）～

## I. 標準化セミナー

### 1. 標準化セミナー（弘前大学） 主催：東北支部

- 対 象： 国立大学法人 弘前大学 \*受講生は以下学部  
人文社会科学部・医学部保健学科・理工学部・農学生命科学部 1～4 年生
- 日 時： 令和 7 年 7 月 3 日(木)
- 場 所： 弘前大学 総合教育棟 303 講義室・対面方式
- 参 加 者： 39 名

#### <プログラム>

○講義:40 分

1. 標準化の歴史的背景
2. 標準化
3. 人的脆弱性

○ワークショップ:40 分

1. 7 グループに分かれ標準化の検討理由などをグループ討議
2. 各グループ代表発表

### 2. 標準化セミナー（淑徳大学） 主催：東日本支部

- 対 象： 淑徳大学コミュニティ政策学部 日野ゼミ 3 年生
- 日 時： ①令和 7 年 12 月 1 日（月）13：00～14：30  
②令和 7 年 12 月 8 日（月）13：00～14：30
- 場 所： 淑徳大学(千葉県千葉市)・対面方式
- 参 加 者： ①15 名(男性 8 名、女性 7 名) ②14 名（男性 7 名、女性 7 名）

#### <プログラム>

##### 【第 1 回】

- 挨拶・NACS メンバー自己紹介
- 講義 「標準化とは」 講師：NACS 会員
- 全体セッション  
テーマ：昨年出たタネ「ドリンクのサイズの標準化」をもとに実現に向けたメリット、デメリット  
について全体討議を実施
- 次週（12/8）カリキュラムについて説明
- テーマ別に 3 つのグループに分け、役割分担を決める  
A：IT 関係 B：サービス関係 C：SDGs 関係
- 経済産業省担当官ご挨拶
- 担当教官講評

## 【第2回】

- オリエンテーション
- グループでアイスブレイク
- グループディスカッション①
- 発表①
- グループディスカッション②
- 発表②
- 担当教官講評 アンケート協力依頼

### 3. 標準化セミナー（神奈川） 主催： 東日本支部

- 対 象：NACS 神奈川分科会  
日 時：令和7年10月18日（土）10：00～12：00  
場 所：神奈川労働プラザ（4階会議室）・対面方式  
参 加 者：16名（男性9名、女性7名）

#### <プログラム>

- 挨拶・NACS 標準化メンバー自己紹介
- 講義 「標準化とは」 講師：NACS 会員
- 講義 「子ども服の安全性」 講師：NACS 会員
- グループディスカッション説明
- グループディスカッション
- 発表
- 講評・アンケート協力依頼

### 4. 標準化セミナー（中部大学） 主催： 中部支部

- 対 象：中部大学 経営情報学部 「経営環境」講座 受講学生  
日 時：（前半）令和7年11月26日（水）11：15～12：45（90分）  
（後半）令和7年12月03日（水）11：15～12：45（90分）  
場 所：愛知県春日井市 中部大学 経営情報学部 925 教室（9号館）  
対面方式（講義：集合形式／ワークショップ：グループワーク）  
参 加 者：学生137名 講師3名（中部大学准教授・名古屋市講師・NACS 担当者）  
NACS ファシリテーター・コメンテーター9名 合計149名

#### <プログラム>

- （前半）11月26日（水）11:15～12:45（90分）  
第1部...講義(30分)

「消費者と標準化の関係、今回の講義とセミナーの意義」... 講師: 担当准教授

「SDGs とエシカル消費...名古屋市の取り組み...」...講師: 名古屋市消費生活課

「あなたの知らない標準化の世界」・「グループワーク」...講師: NACS 担当者

第 2 部...グループワーク(60 分) <38 グループに分かれて>

「消費者視点での標準化のタネ探し」グループワーク ...解説: NACS 担当者

グループワーク……標準化のタネ探しと課題解決策のグループミーティング

(後半) 12 月 3 日 (水) 11:15 ~ 12:45 (90 分)

第 1 部...グループワーク (05 分) <38 グループに分かれて>

本日のセミナーについて・セミナーの説明・発表準備...(担当准教授・NACS)

第 2 部...グループ発表会 (85 分)

グループ代表発表.....38 のグループ代表が順次発表(各 2 分以内)

発表へのコメント.....コメンテーター(NACS 会員)がコメント・総評(名古屋市)

## 5. 標準化セミナー(鳴門教育大学) 主催: 西日本支部

対 象 : 鳴門教育大学 1 年生(「家庭経営学概論」履修者)

日 時 : 令和 7 年 11 月 10 日 (月) 14:40~16:10

場 所 : 鳴門教育大(徳島県鳴門市)・対面方式

参 加 者 : 9 名(女性 9 名、うち 2 名はタイからの留学生)

<プログラム>

①情報提供(14:40~15:10)

「子どもの安全と標準化のたね~もっと安全で便利なくらしについて考えよう！」

講師: NACS 会員

②グループ討議(15:10~16:00)

「標準化のたねを探してみよう」 ワークショップ形式で 3 名×3 グループ

## 6. 標準化セミナー(香川大学) 主催: 西日本支部

対 象 : 香川大学 2,3,4 年生(「家庭科教育法」履修者)

日 時 : 令和 7 年 11 月 18 日 (火) 13:00~14:30

場 所 : 香川大学(香川県高松市)・対面方式

参 加 者 : 大学生 18 名(女性 16 名、男性 2 名)

<プログラム>

①情報提供(13:00~13:30)

「身の回りのたね~もっと安全で便利なくらしについて考えよう！」 講師: NACS 会員

②グループ討議(13:35~14:30)

テーマ「サステナブルファッション。洋服の寿命が少しでも長くなるために標準化したらよいことではないか」

ワークショップ形式で4～5名×4グループ

#### 7. 標準化セミナー（愛媛） 主催：西日本支部

対 象：えひめ消費者ネット会員、コープえひめ理事

日 時：令和7年11月27日（木）13:00～14:30

方 法：コープえひめ会議室・対面方式

参 加 者：20名（女性19名、男性1名）（NACS会員1名、非会員19名）

##### <プログラム>

###### ①情報提供（13:00～13:30）

「身の回りのたね～もっと安全で便利なくらしについて考えよう！」 講師：NACS会員

###### ②グループ討議（13:30～14:30）

テーマ；「もっと安全で便利な暮らしについて考えよう」

ワークショップ形式で4名×5グループ

#### 8. 標準化セミナー（広島経済大学） 主催：中国支部

対 象：大学生

日 時：令和7年10月16日（木）10:45～12:15

場 所：広島経済大学アカデミック・コモンズ 明德館・対面方式

参 加 者：広島経済大学経営学部経営学科3回生（岡本康昭教授ゼミ生）10名

##### <プログラム>

・開会挨拶：NACS中国副支部長

・第1部：講義

① 「もっと安全で便利な暮らしについて考えよう！」 講師：NACS会員

② 「標準化とビジネス～企業から見た標準化」 講師：NACS会員

③ 「昨年のセミナーで出された標準化のタネの調査結果について」 講師：NACS会員

・第2部：グループ討議「『標準化のタネ』を探そう」

・閉会挨拶：担当教官

#### 9. 標準化セミナー（島根） 主催：中国支部

対 象：NACS会員

日 時：令和7年11月1日（土）13:05～14:05

場 所 : 松江テルサ(松江勤労者総合福祉センター)4階 研修室2・対面方式  
参 加 者 : NACS 中国支部会員 (島根の会) 3名、中国支部長 (オブザーバー参加)

<プログラム>

- ・第1部：講義  
「もっと安全で便利な暮らしについて考えよう！」 講師：NACS 会員
- ・第2部：グループ討議「『標準化のタネ』を探そう」

10. 標準化セミナー (鳥取環境大学) 主催：中国支部

対 象 : 大学生  
日 時 : 令和7年12月26日(金) 10:30~12:00  
場 所 : 公立鳥取環境大学 中講義室・対面方式  
参 加 者 : 公立鳥取環境大学経営学部経営学科「マーケティング2(磯野誠教授担当)」受講生83名

<プログラム>

- 開会挨拶：NACS 中国副支部長
- 第1部：講義
  - ①「もっと安全で便利な暮らしについて考えよう！」 講師：NACS 会員
  - ②「テイラー・システムと現代の標準化:テイラー・システムの光と影、および現代的克服策」  
講師：NACS 会員
- 第2部：グループ討議「『標準化のタネ』を探そう」
- 閉会挨拶：担当教官

11. 標準化セミナー (山口) 主催：中国支部

対 象 : NACS 会員  
日 時 : 令和8年1月17日(土) 13:45~14:45  
場 所 : 周南市学び・交流プラザ 交流室2・対面方式  
参 加 者 : NACS 中国支部会員 (山口の会) 5名、中国支部長 (オブザーバー参加)

<プログラム>

- ・第1部：講義  
「もっと安全で便利な暮らしについて考えよう！」 講師：NACS 会員
- ・第2部：グループ討議「『標準化のタネ』を探そう」

## 12. 標準化セミナー（長崎県立大学） 主催：九州支部

対 象：長崎県立大学 地域創造学部 1年生

日 時：令和7年10月21日（火）14：40～16：10

場 所：長崎県立大学 佐世保校 4301 教室（対面）＋ シーボルト校サテライト教室  
（シーボルト校は、学生は集合、講師は通信で講義）

<NACS 人員配置>佐世保校に講師 2 名とセッションサポーター1 名、  
シーボルト校にセッションサポーター1 名（会員 4 名にて実施）

参 加 者：2 会場合計 317 名（佐世保校 298 名＋シーボルト校教室 19 名）

### <プログラム>

◇はじめに 目指すゴール・NACS の紹介 講師：NACS 会員

◇講話1 「あなたの知らない標準化の世界」 講師：NACS 会員

◇講話2 「標準化と地域創造～標準化のタネを探して暮らしやすく魅力的な地域へ～」  
（講師 1 名・セッションサポーター：長崎分科会 2 名）

◇まとめと事後アンケートのお願い

## II. 標準化のタネ探し（消費者視点の標準化提案）

### 1. 東北支部

テーマ：避難施設・設備・災害用備蓄品の標準化 ～簡易ベッド（段ボールベッド）～

#### <テーマ選定の経緯>

2024年、テーマ選定に関する議論を進める中で、同年1月に発生した能登半島地震と8月の南海トラフ地震臨時情報、その後起きた能登半島の豪雨被害など近年災害が多発していることが話題に上った。災害が発生する度に避難所の問題や課題の報道は多くなっている。被災地の問題を顕在化させ、その問題に関する標準の有無を調べ、規格や規則、仕組みの課題を提起することは消費者（生活者）視点が必要であると考え、活動テーマとして取り組みを始めた。

2025年、メンバーで当該テーマを継続するか否かを議論した。震災から1年経過後も石川県で3名の方が災害関連死でお亡くなりになっており、いまこのテーマから離れることはできないと判断・合意し、簡易ベッド（段ボールベッド）の標準化に向けた活動を継続した。

#### <調査概要>

##### ①市販製品の調査拡大

- ・2024年に一部実施。2025年は追加確認のため対象を拡大して調査を実施。  
対象：アマゾン、楽天市場、モノタロウ、TRUSCO
- ・結果は想定したとおり各社バラバラな仕様であることを再確認した。

##### ②段ボール製造メーカーヒアリング

- ・2025年9月にレンゴー株式会社（生産拠点：全国）のヒアリングを実施した。その結果、内閣府には備蓄用と緊急用の2つの仕組みがあり、今後は全国7箇所では備蓄計画があることが判明した。避難所での使用期間が1～2カ月を超える可能性もあり、備蓄用段ボールベッドの想定使用期間との乖離が懸念される。段ボールベッドの仕様は下記の通り。

###### ◇ 備蓄用段ボールベッドの仕様

内閣府の仕様指定は寸法の他に耐荷重は5t、組み立て時間は約5分/台、また想定使用期間は1～2カ月間とされている。

###### ◇ 緊急対策用段ボールベッドの仕様

全段連仕様で統一し、発災後は全国のメーカーから72時間以内に供給する。全段連仕様を推奨するも、基本的にはメーカー各社の考えによるとしていた。なお、全段連仕様は木型が不要なみかん箱タイプのため、通常の生産ラインを止めて作れば、1分間に250個を生産可能である。

##### ③自治体ヒアリング

・ 8月 仙台市泉区役所訪問

段ボールベッドの備蓄無し。「災害応援協定」で各企業、他県など周辺自治体に要請し協力を得る体制を構築していた。

・ 11月 名取市役所訪問

避難所になる体育館は、体育器具の保管を前提にしており、災害用の備蓄スペースは想定されていない。また、名取市では備蓄を補完するため専用の倉庫を設けたが、それでもスペースは少ない。保管が容易なキャンプ用の簡易ベッドを採用する傾向にあるとの見解を得た。

④その他文献調査

- ・ 避難所の環境改善の課題、段ボールベッドの規格がバラバラで扱いにくいなど、避難所の在り方に関する新潟大学 医歯学総合研究科 榛沢和彦特任教授（避難所・避難生活学会常任理事、内閣府防災庁設置準備アドバイザー）による文献や新聞記事
- ・ 避難所・避難生活学会（2024）、「災害関連死を防ぐための避難所環境整備」、内閣官房 国土強靱化推進会議（第5回）、資料4

[https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/suisinkaigi/joukyou\\_dai5/pdf/siryou4.pdf](https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/suisinkaigi/joukyou_dai5/pdf/siryou4.pdf)

（要旨）能登半島地震後、輪島市内の避難所に12種類の段ボールベッドが届いて混乱した。全段連が統一規格を定めており、これを標準化すれば導入時の混乱を回避できる。

<結論>

自治体は財政負担から備蓄を最小限にしており、災害時には協定に基づく相互支援に頼るため、どの自治体にも同じ組立方法の段ボールベッドが届くことが望ましい。大規模災害時には段ボールベッドの増産が不可欠であり、規格統一により迅速な大量生産が可能になる。全段連には既に統一規格があるため、新たに一からJIS規格を検討するよりも、既存仕様を格上げして標準化を進める方が効率的である。仕様統一により、製造コスト削減、保管スペース縮小、板紙不足の対応など、産業面の効果も大きい。日本が段ボール製簡易ベッドの標準を確立すれば、地震の多い海外諸国への普及に寄与し、国際標準化や被災国の産業支援にもつながる可能性がある。

<今後の方針>

次年度あらたにメンバーを募り、東北支部のタネ探し活動を全てリセットして、取り組みの再考を図りたい。

以上

=====  
本文書は経済産業省の令和7年度委託事業の成果です。  
=====